



朝夕とめっきり冷え込むようになりました。食欲の秋もそろそろ終わりでしょうか？
これからは、忘年会や年末年始等で、食生活の管理が難しい時期と思います。例年この時期はHbA1cの値が上昇する方が多く見受けられます。
今回はそんな血糖値管理の重要アイテムの自己血糖測定器の影響因子をほんの少し紹介いたします。

あなたは自己血糖測定器をご存知ですか？ ～影響編～

①ヘマトクリットによる影響（重度の貧血、脱水、新生児等）

《ヘマトクリットが高い場合》

血漿量が減るため血糖低値になる（脱水・多血症・新生児）

《ヘマトクリットが低い場合》

血漿量が増えるため血糖高値になる（重度の貧血・透析患者）

②環境温度による影響（季節、室温、機器温度、試験紙温度等）

生活環境は測定器に影響し冬は温度、梅雨時期は湿度に注意

温度が高い場合（夏）・・・機種により、低値に出る事が有る。

温度が低い場合（冬）・・・機種により、高値に出る事が有る。

温度により測定出来ない場合がある（冬期）

③手に付着した果汁などによる影響

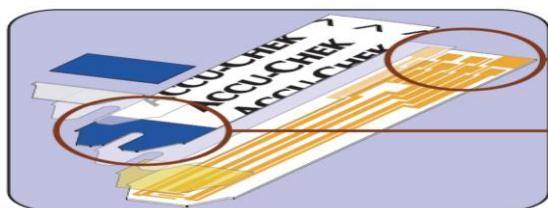
手に付着したまま乾いた果汁に含まれるグルコースの影響を受け高値になる。

アルコール消毒だけではなく、よく手洗いすることが大事。



④手技による影響（検体量不足、試験紙の吸湿、使用期限等）

機種に関わらず、異常値になる可能性が有る。



影響を読み取る部分

血液吸引する部分

＜編集後記＞

・・・血糖測定器は日々進化しています。

発行元：市立三次中央病院

糖尿病療養指導チーム

文責：臨床検査技師（新山 日野原）

